大垣市と大垣共立銀、大垣信金

地域創生協定を締結



協定書を交わした(右から)土屋嶢頭取と小川敏市長、栗田順公理事長＝大垣市役所

大垣市は27日、大垣共立銀行、大垣信用金庫と地域創生推進に関する連携協定を締結した。県内の自治体が地方創生に関し金融機関と協定を締結するのは初めて。

協定の内容は▽総合戦略策定▽市が進める「子育て日本一のまちづくり」への協力▽地域の特性を生かした雇用創出▽商店街や観光活性化の支援―など6分野。

締結式が市役所であり、小川敏市長と同行の土屋嶢頭取、同信金の栗田順公理事長が協定書に調印した。

小川市長は「地域の実情に精通した金融機関と連携し、持続可能なまちづくりを進めたい」とあいさつ。土屋頭取は「市の発展のために連携して少子高齢化などの問題に取り組みたい」、栗田理事長は「創業に向けたビジネスマッチングなど産業振興や観光資源の情報発信に協力したい」と話した。(土屋健一)

無断複製・転載を禁じます